

平成29年度鶴岡市国民健康保険運営協議会

第5回 会 議 録

I. 日 時 平成30年2月8日(木) 13:00~14:40

II. 場 所 鶴岡市役所 3階 委員会室

III. 出席状況

		出 席	欠 席
委 員	被保険者代表	小池 貢、榊原英樹、齋藤邦夫、三浦英喜	菅原 勝
	保険医代表	福原晶子、佐久間正幸、迎田 健、 長井忠男	伊藤末志
	公益代表	菅井 巖、田中 宏、黒井浩之、本間信一、 佐藤博幸	
	被用者保険代表		鈴木 修
	計	13名	3名
市 側	山口副市長 齋藤健康福祉部長 関係課長等 本 所 伊藤国保年金課長、五十嵐課税課長、三浦納税課長、 五十嵐健康課長 藤島庁舎 伊原市民福祉課長 羽黒庁舎 押井市民福祉課長 櫛引庁舎 後藤市民国保年金主査 朝日庁舎 佐藤市民福祉課長 温海庁舎 佐藤市民福祉課長 健康課 増田成人保健主査 国保年金課職員(岡部課長補佐、菅原主査、本間専門員、渡部主事) 計16名		

IV. 議事概要

会議資料訂正

1. 開 会 進行：国保年金課長

2. 会長あいさつ

毎日除雪お疲れ様です。市では豪雪対策本部設置し、市民生活に支障をきたさないようにしているが協力を御礼申し上げる。本日は3月定例議会提出のためご審議をいただきたいので、よろしく願いいたします。

3. 会議録署名委員の指名

会長より齋藤邦夫(被保険者代表)、佐久間正幸(保険医代表)の両委員を指名

4. 報告

- (1) 第二期鶴岡市特定健康診査等実施計画暫定評価について
- (2) 第一期鶴岡市保健事業計画（データヘルス計画）暫定評価について
一括説明

健康課長、増田成人保健主査より説明

▼質問・意見

会長 資料について、協議会開催直前まで修正されたことと考えるが、事前配布できるものは事前配布と当日配布となるものを分けて考えたかどうか。

健康課長 おっしゃる通りです。今後はそのようにいたします。

田中 宏委員（公益代表）

資料別冊1 健診受診率比較について、保健指導実施率は酒田市が高いが何か良い取り組みをしているのか。

増田成人保健主査

酒田市は健診結果を配布している。配布と併せて、健康相談を行っている。それでも当初よりは下がっていると聞いている。鶴岡市の場合は健診結果を郵送し、その後に相談となっている。健診日当日も相談を実施している。

田中 宏委員（公益代表）

鶴岡市では当日はできないのか。

増田成人保健主査

鶴岡市は健診日当日に実施している。酒田市は、健診結果をお渡ししながら保健指導を実施している。

菅井 巖委員（公益代表）

もう一度説明をお願いしたい。

増田成人保健主査

酒田市は、健診結果をお渡ししながら保健指導を実施している。鶴岡市は、人間ドック委託機関においては当日に保健指導を実施している。集団健診においても当日実施している。しかし、2、3年目になると希望されない方が出てくる。

菅井 巖委員（公益代表）

用語、マルチプルリスクファクター、ポピュレーションアプローチなど専門的な用語について教えていただきたい。注釈があったほうがよい。

増田成人保健主査

マルチプルリスクファクターはリスクを複合的に抱えている方のことで、血圧や血糖値が高いとか脂質異常等を抱えているということです。ポピュレーションアプローチはハイリスクと対に使用されているもので、リスクを抱えているいないに関わらず、広く対応いくということです。

会長 委員が解らないものは市民は解らない。注釈についてもできるだけわかりやすく検討ください。

菅井 巖委員（公益代表）

年代別医療費で統合失調症が多いことの方針について

増田成人保健主査

若い方には生活習慣病もでてきているが、どちらかというと精神疾患の医療費が上位に行く傾向にある。他市も同様の傾向である。50歳代になると高血圧症糖尿病などの生活習慣病が増えてくる。

菅井 巖委員（公益代表）

全国的な傾向はわかった。市では問題視していないのか。対策はとっていないのか。

健康課長

こころの健康づくりを行っている。自殺予防対策と併せて3つの柱で取り組んでいる。一つ目は、個別支援強化、二つ目は市民への啓発、三つ目はネットワークづくりとして、健康福祉教育関係者から集まっていただき自殺予防ネットワーク会議を作り、実施できることを考え取り組んでいる。

佐久間委員（保険者代表）

この方々は入院しているのではないか。

健康福祉部長

若い人は医者にかかる割合が少ない。精神疾患は、年齢に関係ないため結果的に若い年代では割合が高くなっている。

増田成人保健主査

入院外来含んでいる。

本間信一委員（公益代表）

別冊1より特定健診受診率が約5割、平成35年度に60%の目標になっているが、別冊2の医療費分析で異常値放置者が1,498人ということで、健診を受診しても再検査が進まない状況のようだが、効率の良いとはどういうことなのか。

増田成人保健主査

他の疾患、難病、がん等を抱えている人を除いたことでより効果的などという表現になっている。

本間信一委員（公益代表）

異常を認識していない人、まだ大丈夫として再受診を妨げていると思う。健診率をあげていくことが必要で対応策として医療機関受診勧奨となっているが、これで効果があるのか。他にはないのか。相当厳しい声掛けも必要かと考える。

増田成人保健主査

鶴岡市が重点的に取り組んでいるのは糖尿病の重症化予防です。自覚症状がなく受診につながらない。回報書の発行や回報書が一定期間戻ってこない方には訪問、電話勧奨をしているが、それでも6割ぐらいです。そのため、説明資料最後にあります「あなたの健診状況のお知らせ」ですが、今の検査値を入れてこのままだと危険ですよというお知らせをすることで、受診率の向上につながればと考えている。

本間信一委員（公益代表）

軽度の方にも再度重症化リスクを説明してもらおうと肩を押されたような気持ちになるので、細かく対応していただければと考える。

その他なし

報告 承認

5. 協議

(1) 平成30年度鶴岡市国民健康保険税等の改正について

国保年金課長より説明

菅井 巖委員（公益代表）

前回まで限度額については触れていない。臨時議会で改正することとなっているが、市の場合引上げをしなくても十分運営できると考えるが、前回の資料から限度額を超える世帯は、一人世帯で700万円3人世帯で645万円、国の算定では約800万円とみているが市は国より低い所得で限度額になるとみている。被用者保険の割合とのバランスで0.5から1.5%の比率に鶴岡市は達しているのでないか。限度額93万円を見越して、所得621万円を超える世帯153世帯0.9%その上の世帯でも193世帯1.2%とあわせて

・約2%、負担感がでてくるため、引き上げるべきではないと考えている。

会長 この件は質疑だけでお願いします。

国保年金課長

課税限度額の引き上げにつきましては、地方税法施行令の改正に合わせての改正となりまして、4月臨時会で提案させていただく内容になります。

(2) 平成30年度鶴岡市国民健康保険事業計画（案）について

国保年金課長より説明

採決（挙手全員）

(3) 平成30年度鶴岡市国民健康保険特別会計予算（案）について

国保年金課長、朝日庁舎市民福祉課長より説明

菅井 巖委員（公益代表）

当初予算案について、硬めに見込んでいるとおききましたが、収納率についてどのように見込んでいるのか。推計では26億円、予算では24億円となっているがどうか。

納税課長

予算積算の収納率については、事業計画に載せております現年度分 92%滞納繰越分 17%で見込んでいます。

菅井 巖委員（公益代表）

先に配布の財政見通しと予算とのかい離が解らない。2億6,000万円減っている。推計は2億2,000万円の繰り越しが出るようになっていたが、それに合わせた予算がふさわしいと考えていたが、そうならば基金積み立てとなるのではないか。

国保年金課長

これまでの運協で説明させていただいた2ページ目の財政見通しを見ていただくと、平成30年度単年度収支で2億2,000万円の黒字とみている。予算にはこの黒字について表すすべがないところです。当初から基金の積み立てとすることができないため、主たる収入である税額で調整をさせていただいております。

菅井 巖委員（公益代表）

実際には26億円保険税が集まる見通しであれば、隠す必要がないのではないか。特別調整交付金の保険者努力支援制度分について一人当たりいくらになるのか。子育て医療費無料化を実施し、国は未就学児童分のペナルティを外すこととしているが、このことは反映しているのか。

国保年金課長

未就学児童分のペナルティは来年度からはずれるが、繰入のルールでは1年遅れで国保会計に繰入されるので、国保会計に影響が出るのは平成31年度からになる。国保のペナルティとしてはトータルで400万円ほどであり、その中で未就学児童分も解消されることになる。保険者努力支援制度のインセンティブの加算部分は、H29年度2,000円ほどになっている。

菅井 巖委員（公益代表）

予算に基金積み立てとすることはできないのか。

国保年金課長

基金条例では、決算に剰余金が出た時に基金積み立てを行うということで議会にお諮りしており、当初予算から見込んで予算計上することは整合性がとれないため、予算ではこのような形となっておりますが、実質の収支については財政見通しのほうがより実態には近くなっています。ご理解をお願いします。

菅井 巖委員 (公益代表)

収納率についてお聞きしたい。

納税課長

平成28年度の収納率は現年で92.89%、滞納繰越で17.98%です。低めに見積もっているということはおっしゃる通りです。

採決 (全員挙手)

(4) 国民健康保険関連予算の補正について

採決 (全員挙手)

(5) その他

なし

6. その他

田中 宏委員 (公益代表)

鶴岡市の健康なまちづくりについての考え方をお聞きしたい。

国保年金課長

国保としては、てくてく里山歩きや健康増進づくりに関わらせていただいているが、国保単独で主導的に取り組むことには至っていない状況です。

健康福祉部長

国保の保健事業は、どちらかといえば医療費抑制適正化を目的にしてきている。鶴岡市としては、国保被保険者とそれ以外の方を区別して保健事業を行ってきにはおりませんし、国保で担える部分を担うということで行ってきております。市民全体の健康づくりをすすめるということで各課連携して行うことにしております。

菅井 巖委員 (公益代表)

保険料の問題で、会社に勤めている方は報酬に応じて保険料を会社と折半しているが、それには国保のように子どもの人数分は入っていない。全国知事会でも軽減してほしいと意見が出されており、鶴岡市としても国や県に意見を出すことをお願いしたい。

副市長 御礼あいさつ

7. 閉 会

議

長

佐藤博幸

会議録署名委員

齋藤邦夫

会議録署名委員

佐久間正幸